朝日山だより

コロナウイルス感染防止の為、例年の恒例行事も今年は工夫しての実施となりました。

スタッフ手書きの神社の前で初詣の記念撮影。皆で手を合わせてお参りをしました。

２月の節分では、スタッフ手作りの鬼に向かって「鬼は外！」と鬼を退治！

社会福祉法人 あさひ会
生活介護事業所　朝日山学園・グループホームあさひ
ヒューマンサポートタッチ
佐賀県東部発達障がい者支援センター結
〒８４１－００７３　佐賀県鳥栖市江島町字西谷３３００－１
ＴＥＬ（０９４２）８４－３２６６
（０９４２）８１－５４０９（支援室）
ＦＡＸ（０９４２）８４－３２８６
Ｅ－Ｍａｉｌ：asahiyama@grace.ocn.ne.jp

『四方よし』

あさひ会　理事長　古澤文雄

松下電器（現パナソニック）の創始者、故松下幸之助は、経営の神様と謳われ、且つ産業界、日本経済のリーダーとして存在感を示されました。彼の日頃の発言や書籍に、「三方よし」という言葉を聞いたり、見たりすることがありました。「三方よし」を経営の理念としていた「三方」とは、どんなことでしょう。それは、「売手よし」「買手よし」「地域（又は）社会よし」を指しています。売手は製品、商品を売ることによって利をもたらし、買手はそれを買うことで、利便性や生活を高めたりする効果が得られ、売り買いの経済活動によって地域社会が潤い、活性化される。ということです。

では、我が社会福祉サービス事業において、「三方よし」に「1」を加えて「四方よし」という姿を追ってみたい。つまり私は、「利用者よし」「保護者よし」「スタッフよし」「経営よし」の四方の実現を目指していきたい。

「利用者よし」は、言うまでもなく利用者の尊厳と人権を守り、安心・安全を確保し、生命・生活を守り、真に心に寄り添うサービスの実践であること。

「保護者よし」は、利用者を施設に託すことにより、ご自身の日々の暮らしに少しでもゆとりを見出してもらうこと。サービスの提供者は、信頼という絆で保護者と繋がっていること。

「スタッフよし」は、安全な職場環境を醸成し、安全・安心が担保されることにより、質の高いサービス提供が実現できること。

「経営よし」は、社会福祉サービス事業の理念に沿った事業の運営に不可欠なものは、収支バランスと健全な財務内容を堅持していくこと。私は、「四方よし」の実現に向けてハード・ソフト両面に優先順位をつけず努力して参ります。

新型コロナウイルスの発生から 1 年が経ちました。社会情勢は、とてつもなく厳しい方向へ進んでいます。社会福祉法人あさひ会が、この困難な情勢を切り開いていくためには、多くの方々のアドバイス、支援が必要

です。２０２１年も、昨年同様ご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

～日中支援の現場から～

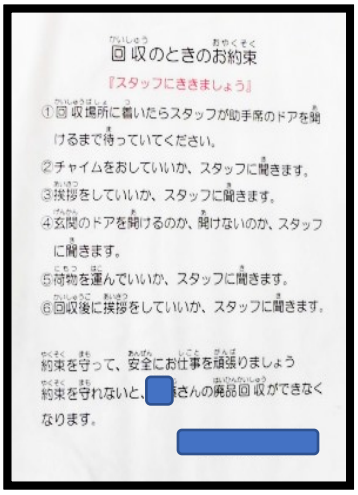
『Ｓさんの資源回収先でのルール』

朝日山学園　生活支援員　中島智子

朝日山学園では、地域の方々のご協力を頂きながら毎日、資源回収活動に取り組んでいます。その中で、人との関わりが好きなＳさんには、毎日資源回収の活動に取り組んでいただいています。しかし、回収に伺った先で、チャイムを何度も立て続けに鳴らす、返事がないのに玄関のドアをいきなりガラッと開け、「誰かいませんかぁ？」と大声で呼ぶなど、自分の考えや思いが先行してしまう場面も見られていました。

この課題から、スタッフ間で話し合いを積み重ねＳさんが、地域の方々と関わっていく上で、社会の一員として好ましい動きとは？またそれを、どのようにしたらＳさんに伝わりやすいかについて検討していきました。

資源回収は、回収先が違えば状況も変わってきます。どのような状況でもＳさんが地域の方々と適切に関わっていくために、Ｓさんにお願いした約束を「スタッフに確認して行動してもらうこと」にしました。それを視覚的にわかりやすく伝えるために、「回収の時のお約束」を作りました。約束の内容は、以下の通りです。①回収場所に着いたらスタッフが助手席のドアを開けるまで待っていてください。②チャイムをおしていいか、スタッフに聞きます。③挨拶をしていいかスタッフに聞きます。④玄関のドアを開けるのか、開けないのか、スタッフに聞きます。⑤荷物を運んでいいか、スタッフに聞きます。⑥回収後に挨拶をしていいか、スタッフに聞きます。このお約束表を回収車の中に常備し、回収先に着いたらスタッフとＳさんで毎回その都度一緒に読み合わせをし、納得していただいてから回収作業に入っていただくようにしました。


回収のときのお約束

『スタッフにききましょう』

①回収場所に着いたらスタッフが助手席のドアを開けるまで待っていてください。

②チャイムをおしていいか、スタッフに聞きます。

③挨拶をしていいか、スタッフに聞きます。

④玄関のドアを開けるのか、開けないのか、スタッフに聞きます。

⑤荷物を運んでいいか、スタッフに聞きます。

⑥回収後に挨拶をしていいか、スタッフに聞きます。

約束を守って、安全にお仕事を頑張りましょう

約束を守れないと、さんの廃品回収ができなくなります。

取り組みの結果、回収時には、スタッフに「挨拶していい？」「チャイムおしていい？」等、スタッフに聞いて行動に移すことができる場面も増え、地域の方々ともより良い関りを持つことが出来るようになってこられています。

これからもＳさんが社会の中で活動を通して自信をもって地域の方々と関われるよう、Ｓ さんに対しての日々の支援を大切にしていきたいと思います。

『訪問理容への挑戦』

朝日山学園　支援主任補佐　中西麻衣佳

朝日山学園では、昨年 6 月頃から訪問理容 teto さんに来園してもらい、利用者数名の髪を定期的にカットしてもらっています。利用者の中には、長時間椅子に座っていることが難しい方や、髪を切られることに大きな不安を持つ方もいます。

安全にカットが行えるようその間は、学園のスタッフが工夫しながらアプローチを行いますが、ここが腕の見せ所です。利用者の方の緊張や不安感を軽減できるように、好きなキャラクターのパネルや絵本を用いて注意を引きつけたり、楽しい雰囲気づくり、場面によっては利用者が好きなおやつ等カットの途中でも活用しながら、その間に髪をカットしてもらっています。これは、まさに朝日山学園のスタッフと teto のスタッフさんとの連携技になります。

はじめは、慣れない動きにじっと椅子に座っていると、次第に声が出たり、散髪を怖がり拒否が出る場面も見られました。しかし、経験を積んでいくことで、長時間落ち着いて髪を切ってもらう事が出来たりと、利用者の皆さんの成長も感じる事ができました。また、teto のスタッフさんからも利用者さんを名前で呼んでもらったり、お互い笑顔で顔を合わせたりと、ただ髪を切ってもらうだけでなく、人と人とのつながりが感じられ

る場面も見られ、朝日山学園の利用者を知ってもらうよい機会にもなりました。

　初めての取り組みに最初はスタッフも緊張と不安の中での挑戦でした。しかし今では、散髪を受け入れ髪型や身だしなみがきれいに整っていく利用者の姿をみると、サービスを受けられることで生活の拡がりも感じられ、とてもうれしく感じます。

　今後も支援やサービスを通じて、利用者の皆さんの生活がより豊かなものになるよう様々なことに挑戦していけたらと思います。

～グループホームあさひから～
『利用者同士の関り』

グループホームあさひ　支援主任　小野洋子

　グループホームあさひが開設された当初、レクリエーション等を通して利用者の方同士の関わりを意識して支援を行ってきました。

　開設から ４ 年が経とうとしている現在、日々生活を共にしていくなかで、利用者同士が自然と自ら関わっている場面が度々見受けられます。関り方は皆さんそれぞれではありますが、そのような場面を見ると嬉しく感じます。ある方の居室で一緒にテレビを観たり、食事が進まない方や困っている方へ気遣って声を掛けたり、入浴を待つ方に「お風呂だよ」と呼びに行ってくれることもあります。時には車椅子を押してくれたり、席を譲ってくれることもあります。お休みの日に周辺の散歩を行っている方もいますが、一人では気が進まなくとも誰かと一緒に行うことで、笑顔で歩く姿が見られる事もありました。そんなひとつ一つの関りが、日々増えていく場面を見かけると、生活を共にすることで仲間意識がより深くなっているように感じます。

　利用者の方それぞれの過ごし方があり、大切な個々の時間ではありますが、お互いに関わる機会が増えていくことで、助け、支え合うという事を感じて頂けたらと思います。利用者の皆さん

それぞれの日々の何気ない関りの中で、お互いが意識し合いながら、笑顔でゆっくりとした雰囲気の中で生活が送って頂ける様なサポートを心がけていきたいと思います。

～セミナー受講の感想～
題名『知りたい！聴きたい！障がい児者のきょうだい』

グループホームあさひ　生活支援員　山根明子

４名の登壇者の方が、１.「子ども時代、中高生」２.「進路、それぞれの独立」３.「結婚、家族」４.「親の介護、親が元気なうちの備え」という４つのテーマについて話をされました。私にも似たような経験があるなと共感できるところが沢山ありました。

その一方で、“きょうだい”の事を知られたくないからと隠したり、色々と苦労されていた話等を聞くと、私がこれまでいかに周囲の人に助けられ、恵まれた環境であったかという事が分かりました。

私の弟は小学生になると学校で意地悪されたり、大人から理不尽な対応をされていた事が何度かあり、私が守らないと、という想いからできるだけ一緒に過ごしてきました。どこかで弟を支えているつもりでいましたが、年齢を重ねる毎に弟の純粋さや優しさに惹かれ、何事にも全力で取り組む姿に、自分もこうありたいなと思わせてもらったり、元気をもらったりと実は私の方が支えられている、という事に気付きました。また、弟と関わる事で福祉の仕事に興味を持ち、携わる事ができ、魅力的な素敵な方々との出会いも沢山あり、幸せな人生を過ごせているという実感もあります。弟がいなければ、今の私はいないので弟には本当に感謝しています。そんな弟と一緒に過ごせる事が私の喜びでもあるので、弟の事を受け入れ、付き合い続けてくれている友人や主人の存在も決して当たり前ではなく、有り難い存在であるという事をこのセミナーを通じて気付かせてもらいました。

セミナー後のＱ&Ａで、特に親御さんの気持ちは、GH あさひで働く上でも保護者の方の気持ちに寄り添ったり、理解する事に繋がるものであった様に思います。今後はきょうだい会等にももっと関心を持ち何か

活かせたらと思います。

～行事報告～

『令和２年度　クリスマス会』

朝日山学園　支援主任補佐　菅寛子

朝日山学園の一大イベントであるクリスマス会。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、例年より規模を縮小して利用者とスタッフのみでの開催となりました。その為、クリスマス会を心待ちにしている利用者に、どのような催し物を企画したら喜んでいただけるのか、会議で検討を重ねて準備を進めてきました。

クリスマス会当日、利用者の皆さんは室内の雰囲気がいつもと変わっているのを見て笑顔になる方もおり、運ばれてくるジュースやケーキを見てより一層表情が輝いていたのが印象的でした。

今回、プログラムの一つとして、スタッフが考案した魚釣りゲームを行いました。各利用者ペアになり魚を釣る人、釣れた魚を受けとる人とそれぞれ相手を意識して取り組む事が出来ました。これも日頃のグループ作業やレクリエーションなど、日中活動の成果だと思います。

そして、もう一つ利用者の皆さんの興味を引き付けるプログラムとして、スタッフが手遊びや歌に合わせて小道具やパネルを用いたダンスを披露しました。ステージ全体を使って動きをダイナミックにすることで、利用者の皆さんもその動きに視線が引き付けられる方や、楽しい雰囲気に笑顔が見られる方もおり、皆さんの興味関心を知る良い機会にもなりました。

はじめは、例年と違う形での開催にスタッフも不安や心配がありました。しかし、日頃の日中活動を生かしたプログラムにすることで、そんな心配も吹き飛ぶくらい利用者の皆さんの笑顔も見られ、保護者が隣に座っていなくても落ち着いて着席し、会に参加する場面が見られたりと、新

たな一面にも気が付くことが出来、スタッフ自身も新たな学びとなりました。

　最後に、クリスマス会を開催するにあたりまして、お菓子や小物などのご寄付を頂きました皆様、本当にありがとうございました。今後ともあさひ会を温かく見守っていただけたらと思います。

◎寄付者ご芳名

令和２年９月～令和３年１月

　岡　潤　　様　・　伊東　スマエ　様　・　三木　洋子　　様
田中　洋子　　様　・　松尾　初子　　様　・　原口　敏子　様
福島　多恵子　　様　・　上尾　央子　　様　・　　角　勲　　様
権藤　ツヤ子　　様（食材）　・　西清寺　　様　・　愛甲　強　様
天野商事株式会社様（食材）　・　ローエン・ハラ　様（マスク）
上田歯科医院院長　上田　昭彦　　様
上田歯科医院の募金箱に募金頂いた皆様
医療法人野田内科設置の募金箱に募金頂いた皆様

クリスマス会
鈴木　洋二　　様　・　廣重　新興　　様　・　西久保　正子　様
原口　敏子　　様　・　桑原　美智子　様　・　末藤　久美子　様
眞田　武彦　　様　・　古澤　文雄　様
以上の皆様にご支援いただきました。ありがとうございます。

☆ボランティアのお申し出について

現在、あさひ会では、新型コロナウィルス感染症防止対策の為、ボランティアのお申し出についてはお受けしておりません。

以前のように利用者の皆さんと一緒に過ごしていただける日常が戻ってまいりましたら、広報誌にて再開のご案内をさせて頂きますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（朝日山学園支援室 TEL：0942-81-5409　担当　橋口）

☆お使いでないロッキングチェアはございませんか？

利用者の方が休憩中に使用するロッキングチェアを探しております。ご使用でないものがございましたら、お譲り頂けないでしょうか？ご連絡お待ちしております。

（朝日山学園支援室　TEL：0942-81-5409　担当　田中）

～新しい職員のご紹介～

☆朝日山学園☆

〇鈴木　あい子さん

令和２年 11 月に入職しました鈴木あい子です。利用者の方に笑顔になってもらえるような支援を心がけたいと思っています。よろしくお願いします。

▣編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大から早いもので１年が経ち、今尚生活に制限を受けている部分もあります。しかし、そのような中でも感染防止を徹底したうえで人と人との繋がりを今年度も様々な場面で感じることが出来ました。どうか、少しでも早くまた元の生活に戻り、この繋がりの輪が地域でもっと広がっていくことを願っています。（中西）

９月～１月行事等【朝日山学園】

９月	4,18	ケース検討会
	14	虐待防止委員会
	11	ケース会議
	15	合同支援検討会
	16	献立会議
	24	誕生会
	25	職員会議
	29	虐待防止委員会
	～28	社会福祉実習 【西九州大学より】
１０月	2,16,30	ケース検討会
	9	ケース会議
	21	献立会議
	23	職員会議
	27	誕生会 虐待防止委員会

１１月	6,20	ケース検討会
	13	ケース会議
	11	誕生会
	18	献立会議
	26	虐待防止委員会
	27	職員会議
１２月	4,18	ケース検討会
	9	誕生会
	11	ケース会議
	16	献立会議
	22	虐待防止委員会
	25	クリスマス会
	28～	年末年始休暇
１月	～3	
	8	ケース会議
	15,29	ケース検討会
	20	献立会議
	22	職員会議
	26	誕生会
	27	虐待防止委員会

✤ホームページでは写真は全てカラーで掲載しております。